

令和7年度中期目標・中期計画に対する自己点検・評価結果

1. 概要

本学では、第4期中期目標・中期計画の達成及び教育研究水準の向上を図ることを目的とし、適切な進捗管理を行うため、毎年度自己点検・評価を実施し、評価結果の公表を行っている。

令和7年度においても各部局から報告された、ロードマップ(=年度計画)に対する自己点検・評価に基づき、大学評価本部において進捗状況の検証を行い、学内主要会議(教育研究評議会、経営協議会)を経て自己点検・評価結果を確定した。

2. 評価方法及びプロセス

本学では、中期計画毎に立てた評価指標(全90項目)を学内において更に細分化(全138項目)し、細分化した評価指標項目毎に各部局が6年間のロードマップを立てて取組を進めている。

令和7年度自己点検・評価においてもロードマップに対する達成状況を4段階(◎：計画以上、○：計画通り、△：進捗遅れ、×：取組不足)により評価しており、各部局は自己点検・評価結果を踏まえ、次年度以降の計画を見直し、評価指標の達成に向けて取組を進めている。

〔評価プロセス〕



3. 評価結果 一総括一

評価の結果、一部項目に計画以上の取組がみられたほか、概ね計画通り取組が進められていることが確認された。一方、一部項目に進捗の遅れがみられたため、該当項目については担当部署に対してヒアリングを実施し、次年度以降の計画の見直し等を行い、大学として評価指標達成に向けた取組を加速していく。

【令和7年度自己点検・評価結果】 ※評価指標を更に細分化し、全138項目で自己点検・評価を実施

	項目数	計画以上 (◎)	計画通り (○)	進捗遅れ (△)	取組不足 (×)
I. 教育研究の質の向上					
(1)社会との共創	5	-	5	-	-
(2)教育	63	-	63	-	-
(3)研究	27	-	27	-	-
(4)その他	17	-	12	5	-
II. 業務運営の改善及び効率化	7	-	5	1	1
III. 財務内容の改善	5	1	3	1	-
IV. 自己点検・評価、情報提供等	7	-	7	-	-
V. その他重要事項	7	-	7	-	-
計138項目 (全体割合)		1	129	7	1
		(0.7%)	(93.5%)	(5.1%)	(0.7%)

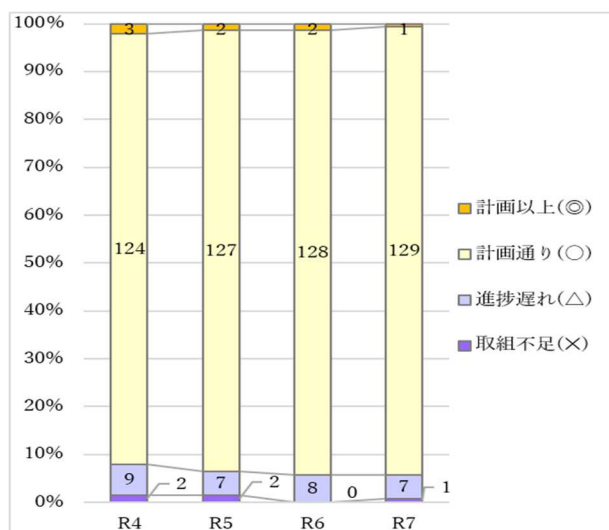
4. 各年度における検証結果及び改善状況

各年度、自己点検・評価結果を各部局にフィードバックし、計画の見直しや取り組みの加速を促してきた結果、「進捗遅れ(△)」、「取組不足(×)」の項目は減少している。

しかしながら、令和7年度は前年度と比較し、「計画以上(◎)」が1減、「取組不足(×)」が1増という結果となったことから、上述のとおり担当部署に対して取組の強化を促す。

今後も評価結果の分析及び改善状況の検証を継続的に実施し、指標達成に向けた取組の着実な推進と改善を図る。

【年度別 検証結果の推移】



5. 主な取組

社会との共創

Topic1：県内初、山梨市と山梨大学の地域課題解決に向けたマッチングファンド共同事業を実施

山梨市と本学は平成18年に包括的連携協定を締結し、それぞれが持つ知見や資源を活用し、地域特有の課題に対する解決策の模索や新たな価値創出に取り組んで来た。

両者の連携をさらに強化し、地域社会の多様なニーズに対応するとともに、持続可能な地域社会の実現を目指し、令和7年度から「地域課題解決型マッチングファンド共同事業」を開始した。

この事業は、大学の特色や専門性を活かした研究活動を通じて、市が抱える地域課題の解決や、地域の発展に寄与すると認められる事業に対して研究費を支援するものであり、同経費についてはマッチングファンド形式により、同市と本学の双方が負担している。



詳細はこちら

<https://www.yamanashi.ac.jp/53374>

Topic2：活動発表イベント「フューチャーEVO.2026」を開催

「フューチャーEVO」は、本学が令和4年度に採択された文部科学省「地域活性化人材育成事業～SPARC～」の一環として実施するもので、山梨を舞台に地域活性化に取り組む小中学生～社会人が一堂に会し、世代間を超えた交流活動を行っている。

令和7年度は、令和8年2月10日に開催し、350名以上が参加した。イベントは2部構成で行い、第1部では、リカレント教育推進シンポジウムとして、(一社)Mt.Fujiイノベーションエンジン理事加藤聖隆氏による基調講演のほか、社会人研究員による成果発表会を実施した。第2部では、県内の小中学生、高校生、大学生、社会人の全82組234名が、山梨で取り組んでいる活動の成果をプレゼンテーションおよびポスターセッションを通して発表した。



詳細はこちら

<https://www.yamanashi.ac.jp/57129>

教育・研究・その他

Topic1：全学共通教育改革の取組が「みらい育成アワード」でグランプリを受賞

令和8年2月10日、東京都千代田区で開催された一般財団法人三菱みらい育成財団「みらい育成アワード 2025～知見・実践、その想いを分かち合う～」において、本学の全学共通教育改革の取組がグランプリを受賞した。

このアワードは、令和6年度に財団の助成を受けて活動している団体の中から、その優れた活動・成果に賞を贈るとともに、培われたナレッジやノウハウ、その想いを分かち合うことを目的に開催されたもので、グランプリを受賞した高校、大学、団体による事例発表やパネルディスカッションなどが行われた。



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/55168>

Topic2：AMED 令和7年度「医学系研究支援プログラム」に採択

山梨大学を代表機関として、富山大学、浜松医科大学、福井大学の4大学が連携し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）公募事業「医学系研究支援プログラム（特色型）」に申請し、採択された。

今回採択を受けた「先端脳科学研究と光量子医学の融合による精神神経疾患・診断治療薬創出と若手医学研究者活躍プラットフォームの構築」事業では、地方大学医学部・附属病院の臨床医が抱える課題を克服し医学研究を推進するため、4大学が連携し、各々の尖った強みである最先端領域分野を融合させ、特に臨床の医師が研究にも専念し、研究を促進するための共有プラットフォームを構築する。



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2025/09/20250903.pdf>

Topic3：グローバルニュートラルエネルギー研究機構（GR/EEN）設立、記念シンポジウムを開催

令和7年度、グリーン水素に関する研究・教育のリソースを集約し、統轄的・戦略的に推進するための「グローバルニュートラルエネルギー研究機構（Global Research Institution of Energy and Environmental Neutrality, GR/EEN）」を設立した。これまでに設立してきた、エネルギー変換の原理現象を解明する「クリーンエネルギー研究センター」、水素・燃料電池の先端材料を研究開発する「水素・燃料電池ナノ材料研究センター」に、カーボンニュートラル社会システム構築も見据えた「ゼロエミッションみらい研究センター」を加え、GR/EENによる統轄のもとグリーン水素研究を高度化する。

この設立を記念し、令和7年12月3日には、大村智記念学術館大村記念ホールにおいてシンポジウムを開催した。シンポジウムには、文部科学省、日本学術振興会、山梨県、ドイツ大使館の来賓をはじめ、国内外から61名の関係者が参加した。



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/56101>

Topic4：学校法人北里研究所・北里大学と人材育成・教育研究に関する包括的連携協定を締結

令和7年4月21日、北里大学白金キャンパスで、本学と学校法人北里研究所・北里大学との人材育成・教育研究に関する包括的連携協定の締結式が行われた。

本協定は、ノーベル生理学・医学賞受賞者の大村智博士の母校である本学と、大村博士が特別荣誉教授を務める北里大学が大村博士を縁として、両大学の連携を強化し、人材育成や研究の充実、地域社会の発展に貢献することを目的として締結された。

本協定に基づき、微生物資源を活用した創薬研究や、胚培養士の人材養成などの共同研究・事業を推進している。



詳細はこちら ➡

<https://www.yamanashi.ac.jp/52810>

業務運営、財務、情報提供等

Topic1：山梨大学公式 Instagram を開設／オリジナルミニ番組・テレビ CM の放送

令和7年7月、新たな手法による広報活動の充実を目的に、山梨大学公式 Instagram を開設した。

学生生活やキャンパスの魅力、最新情報を写真とともに発信し、令和7年度には、計57件(週1.6回)の投稿を行い、フォロワー数1,335人を達成している。

また、令和5年度から放送しているオリジナルミニ番組及びテレビCMについても新作を作成し、オリジナルミニ番組2本(「Mirai プロジェクト編」、「ワイン科学特別コース編」)、テレビCM2本(「見たい未来編」、「創発PBL編」)の放送を行った。



詳細はこちら ➡

Instagram： <https://www.yamanashi.ac.jp/53779>

ミニ番組： <https://www.yamanashi.ac.jp/54562> /

テレビCM： <https://www.yamanashi.ac.jp/55746> /

<https://www.yamanashi.ac.jp/55683>

<https://www.yamanashi.ac.jp/56499>

Topic2：「令和7年度山梨大学ステークホルダーミーティング」を実施

令和7年11月21日、「令和7年度山梨大学ステークホルダーミーティング」を実施した。

当日は、全体会において学長が本学の現況について説明した後、「教育関係」「大学運営・研究・社会貢献」の2つの分科会に分かれ、「教育関係」では「令和7年度全学共通教育改革について」、「大学運営・研究・社会貢献」では「産学官金連携促進に向けた本学の構想について」と題し、それぞれの議題に沿って意見交換を行った。

また、会議終了後は、本学関係者とステークホルダーとの懇談会を開催し、相互の交流を深めた。



詳細はこちら ➡

<https://www.yamanashi.ac.jp/55937>